

ロヒンギャ難民緊急募金にご協力ください。

緊急
URGENT

70万人
緊急の人道支援を待つ
子どもたち



©UNICEF/UN0139414/LEMOYNE

ここでの避難生活は、毎日が生き延びるための闘いです。



難民の80%以上は女性と子ども、55%は子どもたち。ロヒンギャ難民危機は「子どもたちの危機」です。



過密化により多くの給水所で大腸菌が検出されたことを受け、常時120カ所の給水所で浄化を続けています。



はしかのワクチン接種。ロヒンギャの子どもたちの多くは生まれてから一度も予防接種を受けていません。

70万人以上の子どもたちを巻き込む難民危機

2017年の夏に、ミャンマーで暴力が激化したことをきっかけに始まった「ロヒンギャ難民危機」。命の安全を脅かされた少数民族ロヒンギャの人々が急速に難民となって、隣国 Bangladesh に逃れました。

着る物も食べ物もほとんど持たずにたどり着いた先は、ビニールと竹でできた小屋が何十万と並ぶ巨大な難民キャンプ。雨が降ると汚水があふれ出す過酷な環境です。現地では今、増え続ける難民を必死で支える地域住民を含め、130万人もの人々が緊急の人道支援を必要としています。その半数以上、70万人余りを占めているのが子どもたちです。

1人でも多くの命と未来を守りぬくために

ユニセフは危機の発生以来、現地スタッフを大幅に増員し、予防接種や栄養治療、給水支援、トイレの設置、巡回診療など、持てる力のすべてを投じて子どもたちの命を守り続けています。しかし、慢性的な食料不足や不衛生な生活環境は、確実に子どもたちの体力を奪いつつあり、このままでは年内に数万人の乳幼児が重度栄養不良に陥り、感染症などで命を奪われかねません。巨大なキャンプの中には、親を亡くした子どもや心に深い傷を抱えた子どもなど、今手を差し伸べないと未来まで奪われてしまう子どもたちも大勢います。

みなさまのあたたかいご支援をお願い申し上げます。

ユニセフは、難民危機に巻き込まれたロヒンギャの子どもたちと受け入れ地域の子どもたちを守るための資金協力を国際社会に呼びかけています。

子どもたちを守る「ロヒンギャ難民緊急募金」にご協力ください。